

オーディオ実験室収載

Magnetic Wave Guide の導入(6)

1. はじめに

前報(5)に引き続き、Magnetic Wave Guide MC-0.5 のタップ装着テストを行います。

2. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴計画

Magnetic Wave Guide MC-0.5 をいくつか対象を選んでテストしていきますが、今回は中村製作所のタップに使用してみました。

このタップには、すでに iFi の iPurifier AC がセットされており、iPurifier AC と入れ替えします。従って音質への影響はノイズキャンセラーである iPurifier AC と Magnetic Wave Guide というメカニズムの違ったものの比較ということになります。上記のタップからは、300B シングルアンプ、Brooklyn DAC+、Sonica DAC、DA-3000、fidata HFAS1-S10 などの電源を探っています。



Magnetic Wave Guide MC-0.5 の効果を次の音源の再生で確認してみます。

アナログ音源の再生における 300B シングルアンプと Brooklyn DAC+の効果

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

グオルグ・フードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

CD の再生における 300B シングルアンプ、Brooklyn DAC+、fidata HFAS1-S10 の効果

ARCHIV POCA-2009/10

J.S.Bach ミサ曲ロ短調

カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

BS 録画再生における 300B シングルアンプ、Brooklyn DAC+、Sonica DAC、DA-3000 への効果

モーツアルト ヴァイオリンソナタ ハ長調 K296
米元響子

3. Magnetic Wave Guide MC-0.5 の試聴結果

iPurifier AC を装着した状態で聴きなれた音質を再確認し、Magnetic Wave Guide と差し替えて、直後、2 時間後、4 時間ごと聴いていきます。

iPurifier AC を装着した状態では、TruPhase から 300B アンプまでをバランス接続し、要所に VRA-7 を適用していることから、これ以上の変化はないだろうと思っておりましたが、Magnetic Wave Guide への差し替え直後には、劇的というほどではありませんが、メサイアのアナログ再生は、合唱の分離がよくなり、バックの弦楽合奏とシュワルツコップの声が明晰になります。

バッハのロ短調ミサ曲の CD 再生では、バロックヴァイオリンやフルートの音とアルト、テノール、ソプラノの声がくっきりと浮き出ます。

モーツアルトのヴァイオリンソナタの BS 録画再生では、米元響子のガット弦のストラディヴァリウスと伴奏のピアノの音が立ってきます。

Magnetic Wave Guide への差し替え 2 時間後で、メサイアのアナログ再生では、直後の印象が進んだ感じです。

バッハのロ短調ミサ曲の CD 再生では、楽器やボーカルがくっきりと浮き出すと同時に間接音までが豊かに響きます。

モーツアルトのヴァイオリンソナタの BS 録画再生では、米元響子のガット弦のストラディヴァリウスと伴奏のピアノの音が明晰になり、間接音までが豊かに響きます。

Magnetic Wave Guide への差し替え 4 時間後では、メサイアのアナログ再生は、合唱の分離がよくなり、迫力が増しています。

バッハのロ短調ミサ曲の CD 再生では、全体の響きが豊かになります。

モーツアルトのヴァイオリンソナタの BS 録画再生では、さらに間接音の響きが増しています。

4. まとめ

300B シングルアンプ、Brooklyn DAC+、Sonica DAC、DA-3000、fidata HFAS1-S10 などの電源を探っている中村製作所のタップに Magnetic Wave Guide を適用する効果を認めました。

以上

